

財務金融委員長井林辰憲君解任決議案
右の議案を提出する。

令和七年六月十七日

提出者

笠 浩史 稲富 修二

うるま 譲司

古川 元久

鈴木 敦

河村 たかし

新垣 邦男

賛成者

青柳陽一郎	青山 大人	阿久津幸彦	東 克哉	阿部 知子	阿部祐美子	荒井 優
有田 芳生	安藤じゅん子	五十嵐えり	池田 真紀	井坂 信彦	石川 香織	市來 伴子
伊藤 俊輔	今井 雅人	梅谷 守	江田 憲司	大河原まさこ	大串 博志	大島 敦
おおたけりえ	大塚小百合	おおつき紅葉	大西 健介	岡島 一正	岡田 克也	岡田 悟
岡田 華子	岡本あき子	岡本 充功	小川 淳也	奥野総一郎	小熊 慎司	小沢 一郎
落合 貴之	尾辻かな子	海江田万里	金子 恵美	鎌田さゆり	神谷 裕	亀井亜紀子
川内 博史	川原田英世	城井 崇	黒岩 宇洋	源馬謙太郎	神津たけし	後藤 祐一
小宮山泰子	小山 千帆	小山 展弘	近藤 和也	齋藤 裕喜	酒井なつみ	坂本祐之輔
櫻井 周	佐々木ナオミ	佐藤 公治	重徳 和彦	階 猛	篠田奈保子	篠原 豪
篠原 孝	柴田 勝之	下条 みつ	下野 幸助	白石 洋一	末松 義規	杉村 慎治
鈴木 岳幸	鈴木 庸介	宗野 創	高橋 永	高松 智之	竹内 千春	武正 公一
田嶋 要	辻 英之	堤 かなめ	津村 啓介	手塚 仁雄	寺田 学	中島 克仁
中谷 一馬	長妻 昭	長友よしひろ	西川 厚志	西川 将人	野田 佳彦	野間 健
橋本 慧悟	長谷川嘉一	波多野 翼	馬場 雄基	原口 一博	伴野 豊	平岡 秀夫
福田 昭夫	福田 淳太	福森和歌子	藤岡たかお	藤原 規真	太 栄志	本庄 知史
升田世喜男	松尾 明弘	松木けんこう	松下 玲子	松田 功	眞野 哲	馬淵 澄夫
水沼 秀幸	三角 創太	道下 大樹	緑川 貴士	宮川 伸	森田 俊和	森山 浩行
矢崎堅太郎	谷田川 元	柳沢 剛	山 登志浩	山岡 達丸	山岸 一生	山崎 誠
山田 勝彦	山井 和則	山花 郁夫	屋良 朝博	柚木 道義	吉川 元	吉田はるみ
米山 隆一	早稲田ゆき	渡辺 創				
青柳 仁士	東 徹	阿部 圭史	阿部 司	阿部 弘樹	池下 卓	池畑浩太朗
市村浩一郎	伊東 信久	井上 英孝	猪口 幸子	岩谷 良平	梅村 聡	奥下 剛光
金村 龍那	黒田 征樹	斉木 武志	斎藤アレックス	杉本 和巳	空本 誠喜	高橋 英明

徳安	淳子	中司	宏	西田	薫	萩原	佳	馬場	伸幸	林	佑美	藤田	文武
藤巻	健太	前原	誠司	三木	圭恵	美延	映夫	村上	智信	守島	正	和田	有一朗
浅野	哲	石井	智恵	白木	秀剛	岡野	純子	小竹	凱	菊池	大二郎	岸田	光広
許斐亮	太郎	仙田	晃宏	田中	健	玉木雄一	郎	丹野	みどり	長友	慎治	西岡	秀子
西岡	義高	橋本	幹彦	鳩山	紀一郎	日野	紗里亜	深作	ヘース	福田	徹	福田	玄
円	より子	向山	好一	村岡	敏英	森	ようすけ						
北野	裕子	吉川	里奈										
島田	洋一	竹上	裕子										

財務金融委員長井林辰憲君解任決議

本院は、財務金融委員長井林辰憲君を解任する。

右決議する。

理由

物価高騰が国民生活を苦しめ続けている。特にガソリン価格の急激な高騰は国民に大きな負担を強いている。ガソリン価格に上乘せされている暫定税率について野党各党はこれまで何度も廃止を求めてきた。石破総理や政府・与党も廃止すると繰り返し応じてきたが、廃止の時期を明言せず、現在に至るまで廃止に向けた具体的な動きは見られない。

この状況を打開すべく、野党七党は共同でガソリン暫定税率廃止法案を提出し、財務金融委員会での審議を求めた。然るに、委員長である井林辰憲君は審議拒否を続け、未だに法案の審議入りの目途が立っていない。

国民生活に密接に関わる法案の審議拒否を続ける井林辰憲君は、委員長の職責を放棄していると断ぜざるを得ない。即刻その職を解任して、早急に法案の審議入りを図るべきである。

以上が本決議案を提出する理由である。

財務金融委員長井林辰憲君解任決議案

右の議案は委員会の審査を省略されたい。

令和七年六月十七日

提出者

笠

浩



(外 六 名)

衆議院議長

額賀

福志郎

殿